

to me



登米高PTAだより 令和2年度スタート号

2020. 5. 21



子供達のいる生きた学校へ

PTA会長 秋葉 加織



四月初旬の夕方、所用があり登米高へ。登米高に到着し車から降り校舎に目を移した私は自然と「涙」があふれ出ました。子供達が一人もいない冷たく暗い校舎、いつもなら部活動が終わる時刻なので数人の生徒と擦れ違い「こんばんは」と元気に挨拶を交わしたり、吹奏楽部のかすかな楽器の音やグラウンドから聞こえる野球部の男の子達の声。校舎には点々と明かりが見え、女の子達の笑い声と共に校舎を歩く

風見鶏塔の教え

校長 佐々木 真由美



日頃より秋葉PTA会長様をはじめ、保護者の皆様には本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
この春の異動により登米高校長として着任いたしました佐々木真由美です。三月までの二年間、同じ登米市内にある迫支援学校に勤務しておりました。迫支援学校の子供たちから多くのことを学ぶことができました。今回の異動

足音が聞こえ、自然と「笑み」が出てくるはずなのに……。子供達のいない校舎は、こんなにも静けさと寂しさを感じさせるのかと……。そして子供達がいるから学校なのだ改めて強く感じました。今年度で会長三年目。娘も三年生なので登米高PTA活動も今年で最後。大いにPTA活動を満喫して盛りあげようと思っておりましたのに、何かと制限制約され中止。子供達やPTAの方々との交流が出来なくなり、とても残念でなりません。しかし学校が無くなる訳ではなく、子供達が存在する限りPTA活動は続けられます。そして今年百周年になる登米高の伝統は子供達によって確実に引継がれます。一日も早く以前の生

活に戻る事を願い、この間出来なかった事の何倍も出来る事をみつけ子供達と共に前に進んで行こうと思っております。
先生方と役員との連携もままならない状況の為、新入会員の皆様を始めPTA会員の皆様には、ご不安な事が多々あるかと思いますが、子供達や保護者の皆様への情報を早めに明確に伝達する事が出来るように考えております。この広報が配布される頃には学校が再開されている事を願いながら、まずは親として自分自身の命を守る行動と周囲の人達への配慮を子供達に示していかねければと思っております。今後も会員の皆様のPTA活動へのご理解ご協力をよろしくお願い致します。

で登米市に引き続きのご縁を結ぶことができたことを心から嬉しく思っております。
様々な制約の中ではありましたが四月八日・九日に入学式・始業式を行うことができましたのは、保護者の皆様の御理解と御協力の賜であり、心より感謝いたします。その両日、彼ら彼女らの校舎に響く声・溢れる笑顔。校舎は生徒によって「建物」から「学校」になり、その存在の大きさを実感し一日も早い学校再開を願う気持ちを強くしました。
本校生徒には「風見鶏塔」の教える本校の「伝統の精神」を受け継いで欲しいと思います。「風見鶏塔」は学校の外から見えない中庭で校舎中心部分に擁するがごと

く、「自分の心の部分に登米高の誇りを抱き、今やらなければならぬことに全力で直向きに努力する登米高生であれ」と先輩方に励まし続けています。登米高生に百年間の伝統の精神を示し、精神的支柱として存在しています。特に今年度は非常に厳しい自己管理能力が求められる社会情勢であることから、原点に立ち返り「風見鶏塔」の精神の継承を教職員一丸となり掲げてまいります。
会員の皆様におかれましても本校の教育方針への御理解と教育活動への御支援と御協力をいただきますようよろしくお願い致します。



放送による入学式後の各HRの様子（4月8日）